

# 海洋教育を人材育成の柱に！

地域の  
特色ある  
活動

## 1 はじめに

岩手県の北東部にあるわがまち洋野町は、平成 18 年 1 月に、海に面した種市町と高原の大野村が合併して誕生した人口約 17,000 人の小さな町です。

本町には、現在、公立として幼稚園が 1 園、小学校が 8 校、中学校が 4 校、高等学校が 2 校あります。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波を忘れることなく、郷土を愛し、復興・発展を支える人材の育成を目指す復興教育に取り組んできました。その復興教育の理念をさらに発展させ、自分たちの生まれ育ってきた地域に喜びと誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子供を育むことを目指して、今、海洋教育に取り組んでいます。

## 2 海洋教育とは

海洋教育は、各教科などの学習を「海・海洋」（＝身の回りの出来事）を切り口に見直し、関連させて取り組むことで、より主体的な学びが期待できます。

実生活に近い問題解決型学習である海洋教育を通じて、自ら体験し、自ら調べ、自ら発表することで、主体性や発想力、思考力、判断力、表現力が育成され、これが他の教科に波及することによる学



(ウニ採りの様子)



(ウニの殻割の様子)

## 岩手県洋野町教育委員会

力向上と、仲間と協働して取り組むことで、コミュニケーション力を養い、プレゼンテーション能力の向上を図ることで、変化の激しい社会をたくましく生きぬける人材の育成に繋げていくことをねらいとしています。

## 3 東京大学との連携

町では、海洋教育の推進に際し、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターと平成 26 年に「海洋教育促進拠点協定」を、さらに平成 29 年に「海洋教育促進研究拠点協定」を締結し、連携して取り組んでいます。



(連携協定締結)

## 4 学校の取組

- ①海上保安庁などによる海洋教室
- ②津波防災教室（種市高校海洋開発科の生徒による津波のメカニズム出前授業）
- ③海浜清掃
- ④乗船体験
- ⑤海の生物や海の仕事、地元の海についての調べ学習
- ⑥サケの稚魚、稚ウニの放流
- ⑦魚の見学、漁業体験（サケの解体加工、鮭とばづくりなど）→販売体験（修学旅行）
- ⑧東京大学講師による実験などの出前授業



(浜辺の生物観察の様子)

## 5 教育委員会の取組

- ①「海はともだち」東京大学講師の授業、

乗船体験、生物観察

- ②「森は巡る」植樹
- ③「海洋教育カンファレンス」年間の活動成果の発表会



(「森は巡る」での植樹の様子)



(特別授業の様子)

## 6 サミット (発表会)

- ①海洋教育子どもサミット (本年度は気仙沼市、来年度は洋野町)
- ②海洋教育全国サミット (東大)
- ③成果報告会 (東大)



(全国サミットでのポスターセッションの様子)



(子どもサミットでの学びを深める様子)

## 7 現状分析

町の海洋教育一期生となる現在の中野中学校3年生の平成30年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査結果を見ると、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の問いに当てはまると回答した生徒が64.7%、「地域社会などでボラン

ティア活動に参加したことがありますか」に当てはまるが94.1%、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」に当てはまるが76.5%、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」に当てはまるが70.6%、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に当てはまるが76.5%といずれの数値も全国・岩手県平均と比較し、非常に高い数値となっており、愛着を持って、地域に貢献しようという思いに強い傾向が見られ、それに伴い地域が活動の場を提供するなどの学校支援に繋がっています。また、発表会などで発信する機会を通して、コミュニケーション力やプレゼンテーション能力の向上、学力の伸長も見られることから、海洋教育を軸とした小学校からの学習活動の成果の表れであると捉えています。

## 8 終わりに

現在は学校教育が主ですが、町では、主要産業である農林水産業の振興や担い手育成に繋がる事業であると捉え、指導者としての地域人材の育成や産学官連携による新たな事業の展開を検討しています。また、学校教育において、現在、文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、「海洋科」を設置しているのは中野小学校1校のみですが、最終的に町内全校で、「海洋科」を設置し、海洋教育を学校教育の核とし、小学校から中学校までの9年間を通したカリキュラムによる人材育成を進めていきたいと考えております。



教育長  
向折戸 博昭